

五十音順	氏名	都道府県	所属	立候補趣意
1	秋吉 亮人	神奈川県	AKIYOSHI ANIMAL CLINIC	私は日本獣医がん学会代議員に立候補します。開業医と大学共同研究員の立場から、会員皆様の意見を大切に、日本獣医がん学会のさらなる発展に貢献することを約束します。よろしくお願いいたします。
2	新井 賢	愛知県	新井獣医科病院	私は1995年の日本獣医がん研究会開催当初からの会員で、獣医がん医療の発展を見続けてきました。本学会のさらなる発展、日本から世界への診断・治療技術の発信を代議員として見守りたいと考えております。
3	伊賀瀬 雅也	山口県	山口大学	山口大学にて基礎と臨床を橋渡しする獣医腫瘍学研究に従事し、本学会では、臨床研究委員・企画委員として学会運営に携わってきました。今後は代議員として学会の発展により一層貢献したく存じます。
4	井口 貴瑛	東京都	東京大学 大学院農学生命科学研究科	獣医腫瘍学の発展と臨床応用の架け橋となるべく、基礎・臨床の視点と若手ならではの柔軟な発想を活かし、代議員として日本獣医がん学会に貢献したいと考えております。
5	池田 彬人	埼玉県	公益財団法人日本小動物医療センター	腫瘍性疾患のより適切な診断・治療には多角的な視点が不可欠であることと存じます。私はその一端を担うことで獣医腫瘍学並びに本学会の更なる発展に寄与したく、代議員に立候補いたします。
6	石垣 久美子	神奈川県	日本大学	日本大学の動物病院では外科診療を担当し、獣医外科学研究室では上席研究員として腫瘍外科研究を行い、国内外で講演や発表を行って参りました。今後も学会活動を通じて日本の腫瘍学の発展に尽力する所存です。
7	市川 美佳	神奈川県	日本動物高度医療センター	出身大学や診療施設などの垣根を超えて、患者やご家族のためにより良い診断や治療の情報を共有できる学会であり続ける一助になればと思い、立候補いたしました。よろしくお願いいたします。
8	今井 理衣	東京都	アーツ人形町動物病院	会員の学術的知識や技術の向上のための学会企画や学会誌の充実、データベース構築等により、担がん動物と家族への獣医療に寄与することができる学会に、また更なる学会員同士の交流の場となるようにしたい。
9	大川 雄一郎	神奈川県	さがみ総合どうぶつ医療センター	臨床現場で培った経験を基に、がん診療の質の向上と会員間の情報共有に貢献したいと考えております。現場の声を学会運営に反映させるべく、代議員に立候補いたします。どうぞよろしくお願いいたします。
10	大参 亜紀	東京都	東京大学	前期は代議員および内科療法委員として本学会に貢献して参りました。今、さらに大きく発展しつつある本学会の一助となるべく、学術と臨床の両面に通じた視点を活かし、今後も変わらぬ情熱をもって尽力する所存です。
11	奥田 知奈美	東京都	日本動物医療センター	まだまだ腫瘍科認定医を目指す勉強の身ですが、獣医がん学会の代議員に立候補します。
12	加藤 大貴	東京都	東京大学 大学院農学生命科学研究科 獣医外科学研究室	東京大学の加藤です。大学で培ってきました専門的な臨床・研究・教育力を基盤に日本獣医がん学会の運営と発展に取り組んでいきたいと存じます。みなさまのご支援を賜れますよう何卒よろしくお願いいたします。
13	廉澤 剛	埼玉県等	日本小動物医療センター	これまでの経験を活かし、当学会の学術と運営の補助を行うため
14	木村 太郎	東京都	動物外科診療室 東京	臨床現場で感じる多くの学びを、がん診療の質向上につなげたいと考え立候補いたしました。現場目線の声を届ける一助となれば幸いです。
15	児玉 恵子	福岡県	児玉どうぶつ病院	日本獣医がん学会の発足当初より参加し、joncol前編集長を務めました。今後も学会の発展に寄与すべく、代議員に立候補致します。
16	酒居 幸生	青森県	北里大学	この度、私はアカデミアのキャリアを活かし、国内の獣医腫瘍診断・治療学の発展と推進に貢献したいと考えたため、日本獣医がん学会の選挙選出代議員に立候補いたします。
17	佐々木 悠	東京都	動物のがんと総合診療	日本獣医がん学会の発展と臨床現場の橋渡し役として、最新知見の共有と実践的課題の解決に貢献したく、代議員に立候補いたします。
18	諏訪 晃久	福岡県	すわ動物病院	前回に引き続き、獣医がん学会の発展と臨床現場との連携強化に貢献すべく、代議員に立候補いたします。臨床腫瘍学の実践的課題にも積極的に取り組み、学会活動に貢献してまいります。
19	高橋 朋子	大阪府	大阪公立大学	日本獣医がん学会の代議員に立候補いたします。がん放射線治療について理解を深めていただいたり、未来のがん診療仲間である学部学生に興味を持ってもらえるよう、学会に意見をあげていきたいと考えています。
20	田川 道人	愛媛県	岡山理科大学	現在、日本獣医がん学会は国際化や愛玩動物看護師などの参画により大きな変革を迎えようとしています。私はがん学会が研究会のころから参加しており、諸先輩方が築き上げた歴史を踏まえながら、今後のがん学会の在り方を会員皆様とともに考えていければと思っております。
21	富安 博隆	東京都	東京大学 獣医内科学研究室	私はこれまでに臨床、研究、教育という三つの観点から獣医腫瘍学を発展させるべく活動して参りましたが、獣医がん学会の発展に貢献したいと考え代議員に立候補させていただきます。何卒よろしくお願いいたします。
22	西戸 達郎	大阪府	ファール動物医療センター	現在は代議員、企画委員、JONCOL編集委員を担当しております。学会の発展だけでなく、腫瘍に罹患した動物たちが、より良い治療を全国で受けられるよう貢献したく、立候補させていただきます。
23	根本 有希	山口県	山口大学	獣医師やスタッフが科学的根拠に基づいた知見を腫瘍診療に活かせるよう、学会を活発な学びの場にしたい。
24	朴 永泰	東京都	Ve. C. 自由が丘動物医療センター	日本獣医がん学会の発展に尽力できたらと思います。
25	橋本 砂輝	福岡県	砂輝動物病院	今まで本学会より多くのことを学ばせて頂きました。今後も日々の臨床現場へ学んだ知識や経験を還元しつつ、学会の発展と若手獣医師の育成に微力ながらも貢献していきたいと考えております。
26	橋本 直幸	岡山県	倉敷芸術科学大学	学会企画に携わる立場から、臨床現場の声を反映した有意義な活動を推進し、会員の知見共有に貢献したいと考えております。
27	林 光児	東京都	VOSS	日本における獣医腫瘍科の発展に寄与することを常に念頭に置き日々診療に謹んでおります。そのためには本学会の活動がますます活発化させ昇華させることが最優先であり、これに寄与し尽力すべく立候補いたしました。
28	原田 慶	埼玉県	日本小動物がんセンター	私はより満足度と質の高い学会となるようバランスを取って学会の運営や企画に参加したいと思っています。また動物看護師の参画に当たっても積極的に会の中でポジションを得られるようにしたいと思っています。
29	福山 泰広	神奈川県	鶴沼海岸どうぶつ病院	日本獣医がん学会が中心となって小動物のがん治療がさらに発展し、患者とご家族の苦痛が少しでも軽減されることを願い、その一助となれるよう立候補いたしました。
30	藤井 亜希奈	東京都	東京動物医療センター	最新の知見を学び診療に活かし、学会活動を通じ会員の皆様と情報共有を図り、獣医療の向上に尽力したいと考えております。微力ながら学会運営にも積極的に参加させて頂きたく、代議員に立候補いたします。

五十音順	氏名	都道府県	所属	立候補趣意
31	藤原 亜紀	東京都	日本獣医生命科学大学	現在まで内科療法委員として日本獣医がん学会に参画させて頂いております。専門は呼吸器腫瘍となりますが、これまで学会に参加し呼吸器腫瘍以外にも沢山の腫瘍の知識を深めることができました。今後も多くの先生方とディスカッションなどを通じて日本獣医がん学会の発展に貢献できたら幸いです。
32	保坂 創史	東京都	南大沢どうぶつ病院	これまで、認定医委員会や企画委員会などで、学会の運営の携わってまいりました。この経験を活かし、今後も学会の発展にご協力したいと考えます。
33	南 智彦	千葉県	ALL動物病院グループ	がん学会会員として10余年、一次診療獣医師の立場から学会の運営・方針に積極的に関与し、理事と会員の架け橋として学会の発展に寄与したいと考えています。
34	三宅 龍二	広島県	ACC福山動物医療センター	日本獣医がん学会の代議員立候補にあたり、獣医がん学会の発展へ寄与、学術への貢献、次世代の育成、技術と情報の継承を目的として協力体制を構築いたします。
35	山崎 裕毅	北海道	酪農学園大学	獣医腫瘍学の発展と臨床・研究の橋渡しに貢献すべく、現場の声を反映させる役割を果たしたいと考えております。
36	吉田 健二	千葉県	ファミリー動物病院	日頃より本学会から多くを学ばせていただき感謝しております。微力ではありますが、自らも学会の運営と発展に貢献したく立候補致します。
37	米地 若菜	奈良県	奈良動物二次診療クリニック	今まで色々学ばせてもらった獣医がん学会のために役に立ちたいと思っています。より良い会にして未来に繋いでいくために、今の学会のあり方の決定に携わっていただけたらと思います立候補します。
38	林宝 謙治	埼玉県	埼玉動物医療センター	本邦の獣医医療における腫瘍学の発展に寄与することが自分の使命だと感じています。代議員として日本獣医がん学会の発展に貢献できたらと考えて立候補させていただきます。